

化学療法センターへようこそ

1、外来化学療法の流れ

<外来受付>

★各科外来窓口（1F）に予約票を提出し、受付をします。
★当日、自宅で体重測定をして予約表に記入をお願いします。
予約表に体重を書く紙が貼ってあります。
★アバスチンまたはサイラムザを投与している方は、診察前もしくは診察時に血圧の確認があります。血圧を書いている手帳を各科外来窓口もしくは医師へ提出するようお願いいたします。



<検査>

★予定されている採血やレントゲン撮影など実施します。
★採血結果が出るまで、約1～2時間かかります。その間に、体温・血圧・脈拍・パルスオキシメーターを測定して待合室でお待ちください。血圧は自動血圧計がありますので、測定した結果の紙を各科外来窓口へ提出してください。



<検査結果を参考に医師が診察>

★2階で診察の場合は、外来化学療法室に移動となります。案内票が入ったファイルを、化学療法室入口にある専用の箱に入れてお待ちください。
★診察終了後、次回の予約票や検査予約票を受け取ります。



<治療を行う場合>

★2階の外来化学療法室で点滴をします。

治療を行わない場合



お会計をして、医師からのお薬の処方があった場合は薬局で受け取り、帰宅となります。

2、診察時の注意点



☆外来化学療法室へ移動した後では、対応が難しいことがあるので診察時に下記の事項を直接主治医へお話しください。

- ・ 自宅での副作用、または気になる症状
- ・ 主治医に聞きたいことや、かかりつけの病院からの連絡事項
- ・ 内服薬の処方
例えば、「便秘の薬が欲しい」「咳止めの薬が効かないので違う薬はないだろうか」など



3、治療時の過ごし方

☆治療中は・・・

- ・ リクライニングチェアまたは、ベットでの治療になります。特に激しく動かなければ問題はありません。リラックスして治療を受けてください。
- ・ **点滴中、薬の種類によっては少量の点滴漏れでも皮膚に障害を起こすものがあります。点滴中、針を刺している箇所に痛み・腫れ・赤みを感じたらすぐに看護師に知らせてください。処置が必要な場合があります。**
- ・ 抗がん剤の点滴中は、トイレ以外は治療室から離れないようにして下さい。
- ・ 終了後、針を抜いた後は、もまずしっかりと押さえ、血が止まっていることを確認してから体を起こしてください。
- ・ 血が止まっても再度出血することがあるため、包帯で5分圧迫してから帰宅となります。帰宅後に出血がなければ、絆創膏をはずしてください。



☆トイレ

2階フロア内にトイレがあります。治療前に済ませておいてください。点滴中にトイレに行く際は、看護師へ声をかけて下さい。

☆食事・飲食物について

持ち込み可能です。点滴に時間がかかる場合は、点滴を開始する前に昼食の準備をお願いします。

☆テレビ・ラジオについて

ポータブルCD・DVD、ラジオ等は、イヤホン使用で持ち込み可能です。

☆ナースコールについて

ベットへの備え付けはありません。
御用の際は看護師へ直接声をかけてください。



☆付き添いについて

付き添いの方は、1階または2階待合室でお待ちください。終了時間をお知らせしますので、お迎えの際の目安にしてください。御用のある場合は、看護師までお申し出ください。

4、帰宅後について

～ 以下の症状がある際は、早めに相談をして下さい。～

- ☆ 38℃以上の熱が続く
- ☆ 出血が止まらない（血痰、血便、血尿、吐血、鼻出血など）
 - ・痰が赤い
 - ・赤い便や黒い便がでる
 - ・尿が赤い
 - ・吐いたものに血が混じっている
- ☆ 嘔吐が続き、1日以上何も食べられない
- ☆ 尿の量が減った
- ☆ 1日5回以上のひどい下痢が止まらない
- ☆ 口内炎の痛みがひどくて 食べられない
- ☆ 日常生活に必要な活動ができない
- ☆ 間質肺炎が疑われる症状
いつもより咳、痰が多く、息切れもしやすくなった。熱が出て体がだるい
- ☆ 点滴をしていた部位が、赤く腫れてきたり、痛くなってきた
- ☆ アバスチンまたはサイラムザを投与されている方
血圧を書いてもらう手帳に、病院に連絡が欲しい症状が記載されているので、参照して下さい。



～ 連絡の方法 ～

夜間および予約日以外の日で体調が思わしくない時は、我慢せず病院に連絡をしてください。

仙台厚生病院 ☎022-222-6181

その際は下記の点を伝えて下さい。

- ①お名前、生年月日または診察券の番号
- ②主治医の先生、通院している科（呼吸器内科・消化器内科・消化器外科・腫瘍内科）
- ③外来で抗がん剤の点滴を受けていること
- ④いつごろから、どのような症状があるか

※夜間および土日を受診された場合は、軽症の場合でも経過観察のため基本的に入院となります。

5、自宅での注意点

抗がん剤の投与後、48時間（2日間）の排泄物に抗がん剤が含まれていると言われています。家族や他の方への曝露予防のため、以下の点にご注意ください。
※曝露とは、抗がん剤がさらされている状況をいい、知らない間に接触したり、摂取したりすることで、発がん性があります。

- ☆抗がん剤投与後48時間（2日間）は、トイレの際に水を2回流すようにしましょう。
- ☆男性は、排尿時に立ってすると便器周囲を汚染する可能性があります。便座に座ってするようにしましょう。
- ☆洗濯物は、明らかに汚染がある場合（尿・便・吐物・大量の汗）は、使い捨て手袋を付け、家族の洗濯物とは別にして、2度洗いするようにしましょう。汚染がない場合は、家族の洗濯物と一緒にでも可能です。



6、予約日のキャンセルについて

- ☆外来化学療法の予約を急用のためにキャンセルしたい場合は下記の専用番号まで連絡をお願いします。
- ☆化学療法は治療の日程が決まっています。治療を効果的にするためにも、予約の変更は出来る限り避けるようにして下さい。
- ☆キャンセルをした場合、予約の取り直しが必要になります。直接各科外来の窓口へお越し下さい。

キャンセル専用 ☎022-222-6211

※キャンセルの受付は平日のみとなります。
9：00～17：00の時間帯で電話をお願いします。

